

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ピアノ演奏法Ⅱ Piano performance method Ⅱ		1年	後期	月曜日・2時限、3時限、4時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (保育士養成課程選択)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
音楽表現Ⅰ 音楽表現Ⅱ ピアノ演奏法Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
岡島志のぶ 石塚将之 メンサー肇子 藤野理恵子 中沢光恵 西尾幸子		本館3階 講義棟1階	月・水・木・金	授業中に指示します
授業の概要				
子どもの生活には常に音楽が伴い、ピアノを弾いて歌う事は日常的に用いられている。この授業では、個人レッスンの形式で個々のピアノ技術の習得を目指す。保育の場で多く歌われている日常のうたや季節、行事に用いられるうたを弾けるように、教則本と併用して幼児曲の伴奏法を習得し、グループでの弾き歌いも実践する。				
授業の到達目標				
①自分の力でピアノの練習をすることができ、音楽を深く理解することができるようにする。 ②各楽曲の調号や曲の性質を理解して、初心者 of 学生はバイエル教則本を終了することができるようにする。 ③子どもの音楽的発達について理解し、日常の曲、季節のうたや行事に用いられる曲を演奏することができるようにする。				
授業の方法				
ピアノの技能は、初心者と経験者によって差が見られるため、基本としては個人レッスンとするが、幼児曲演習では、グループでの演習も行う。指導の際には、各学生の能力に応じた指導を行うため、授業内容は各学生によって異なり、以下には標準的(初心者 of 学生に沿った)授業計画を示すこととする。				
学習の成果				
①自分の力で幼児曲を伴奏し、音楽を楽しみながら楽曲の理解をすることができる。 ②各楽曲の理解をして、初心者でもバイエル教則本を終了することができ、保育者に必要なピアノ技術(バイエル終了程度)を習得することができる。 ③子どもの音楽的発達について理解し、日常のうた(おはよう、おべんとう、おかえりのうた)や季節、行事に用いられるうたを保育の場で実践することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	全体オリエンテーション：授業概要、評価方法の説明、受講する際の注意 担当者別：各自 of 教材の選定と課題			
第2回目	各曲の習得 バイエル80番～90番程度①			
第3回目	各曲の習得 バイエル80番～90番程度②			
第4回目	各曲の習得 バイエル90番～100番程度①			
第5回目	各曲の習得 バイエル90番～100番程度②			
第6回目	幼児曲の習得(日常のうた「おはよう」「おべんとう」「おかえりのうた」)①			

第7回目	幼児曲の習得（日常のうた「おはよう」「おべんとう」「おかえりのうた」）②	
第8回目	季節のうた、行事にも用いられる曲（自由曲）①	
第9回目	季節のうた、行事にも用いられる曲（自由曲）②	
第10回目	グループ演習：幼児曲伴奏法	
第11回目	音楽実技試験課題曲の指導① 自由曲	
第12回目	音楽実技試験課題曲の指導② 自由曲	
第13回目	音楽実技試験課題曲の指導③ 自由曲	
第14回目	実技試験（各自発表）	
第15回目	試験曲の講評とこれからの課題（各自）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	毎回、与えられた課題を練習して授業に臨んでいる。また、授業内での（レッスン）による理解度についても評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）	60%	担当教員全員の前で1曲演奏し、曲の難易度と表現力で採点する。各担当教員6名が全ての学生の演奏を採点し、その平均点を評価とする。（楽譜の理解、表現力がある等）
その他	10%	曲の進度による評価をする。（日常のうた3曲を弾けることができた等）
教科書と参考図書		
テキスト：初心者 of 学生はバイエル教則本（全音楽譜出版社）、他の学生は進度に応じてブルグミュラー25の練習曲、ソナチネ、ソナタ（全音楽譜出版社）		
履修上の心得・ルール		
毎回、個人に適した曲が課題となり、次回の授業で担当教員にレッスンを受ける。短い時間でも、毎日、鍵盤に触れる習慣を身につけ、子どもたちのためにピアノを弾けるよう努力してほしい。		